



健診センターニュース

訪問看護のお仕事についてご紹介しま〜す!!

訪問看護は、看護師がご自宅を訪問して健康状態を観察したり、入浴や排泄の介助、床ずれなどの処置や点滴などの治療、お薬が飲めているかの確認や支援、酸素などの医療機器の管理指導などさまざまな支援を行い、利用者さんの療養生活をサポートしています。訪問看護は高齢者が対象と思われがちですが、病気や障がいなどがあり、自宅で療養しながら生活されている赤ちゃんからお年寄りまで、年齢を問わずすべての方が対象です。また、ご本人だけでなく介護をされているご家族の支援も行っています。

私たち訪問看護師が訪問すると、「病院を受診した時に先生が話す内容がよくわからなかったけど、聞き直しをしないで帰って来た。」という方もおられます。そんな時、訪問看護師なら尋ねやすいと質問をいただくことがあります。話を聞いていると誤解や勘違いをされていることもあり、それを修正するのも私たちの役割です。普段の生活では目にする事のない管（くだ）がひとつでも身体に入ると、皆さん管（くだ）の管理や処置に困られます。そんな時は訪問看護師を頼りにしてください。他にも自宅での看取りも訪問看護師の大きな役割です。最期の瞬間まで安心して家で過ごせるために支援させていただきます。

私たち訪問看護師は「医療と自宅を結び繋ぎ目」「隣にいる医療従事者」として、一番身近な存在であるように心がけています。利用者さんからは「訪問看護師が来てくれるから安心して過ごせます。」とか、最期を看取られたご家族さまからは「家で看取ることができてすごよかった。おかげでよい時間が過ごせました。母と過ごした時間すべてが私たちにとってかけがえのない宝です。」などの声をいただきます。「ちょっと話が聞きたいな」と思われたら、舞鶴赤十字訪問看護ステーションまでお気軽にお尋ねください。

体調はいかがですか？



お体を拭いてさっぱりしましょうね。



医師と一緒に訪問診療



5月は赤十字運動月間、5月8日は「世界赤十字デー」です

赤十字を創設したアンリー・デュナンの生誕日である5月8日は「世界赤十字デー」です。赤十字は、世界192の国と地域に広がる赤十字・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織です。日本赤十字社はそのうちの一社であり、1877年（明治10年）の西南戦争における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護など、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動しています。災害の被災地における救護活動（日赤救護班485班）の他にも、命を救う・命を守るための知識や技術の普及、地域に根差した活動を行うボランティア（114万人）や青少年の育成（14441校349万人）、海外で発生した人道危機への支援など、365日、それぞれの場所で動き続けて

います。日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字活動への理解を深めていただき、活動への参加と支援を呼びかけています。今年は、公式アンバサダーに俳優の上白石萌音さんが就任され、「赤十字は、動いてる！SAVE365」と銘打ち、様々な取り組みをお伝えしていきます。引き続き、赤十字活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

赤十字は、動いてる！

+ SAVE365

赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！
赤十字は、動いてる！



健診センターからのお知らせ

ー新型コロナウイルス感染症対策についてー

平熱を知るため1週間程度検温してご来院ください。発熱、感冒症状、息苦しさ、強いだるさ、下痢などの症状がある又は続いている場合や2週間以内に感染流行地に行かれた方は、受診していただく事ができません。来院できない場合は健診センターまでご連絡ください。感染予防のため、マスク着用、手洗い、換気等にご協力ください。



健診のご予約・お問い合わせは

下記までお気軽にお電話ください。

624-0906
舞鶴市字倉谷427 健診センター
TEL (0773) 75-1920
FAX (0773) 75-7380
月～金 8:30～17:00
(土・日・祝日・年末年始12/29～1/3・創立記念日6/1休)

